

テーマ：自己納得の怖さを知る

講演者：片山勝之さん

こんにちは、私の持ち時間は、15分でしたが大変時間が押してまいりましたので、5分になりました。私の意図をが理解いただけたら幸いです。

タイトルにあった「自己納得」について、お話をしたいと思います。私は、現在71歳です。2つの会社を経営していて、大変多忙な毎日を送っています。私が、会社の健診で最初にタンパク尿が出たのが、22歳のときでした。当時は、造船会社に勤務しており、会社の診療施設には、外科医師しかいなくて、その時、私の母が、遊走腎だからしかたがないという話になり、そこで納得してしまい。それから、44歳まで毎年、尿タンパクの値プラス1、プラス2が続きました。当時は、相当ハードな仕事をして、なおかつ1日60本位タバコを吸っていました。44歳でその造船会社を退社しました。その1年前に、朝に吐血をし、すぐに市民病院で診察をうけたのですが、異常なく。その後もなんともなかったもので、そのままにしていました。なぜなら、それまで、病気などしたことがなく、中学校3年に盲腸の手術をしたぐらいでしたから、身体には自信があったので、まあいいかと、又、納得していました。

私は技術屋なので、何でも自分自身で追求して解決していくタイプなので、他人に相談することは、あまりしません。

会社を辞めるときに、タバコもやめました。ところが、いままで、血圧が上が120下が70でコンスタントにきていたのですが、タバコをやめたとたん、上が150下が90位に、急に上がりました。そのときも、タバコをやめたからかなあとこれもまた、納得してしまいました。

55歳位の時、急に胸が痛くなりました。かかりつけの医院に行き、心電図をとってもらったら異常はありませんでした。最近、運動不足かなと思い、サウナスーツを着込んで、1日6キロ歩くハードなトレーニングもしたりしました。

67歳の時にかかりつけの医院で、血液検査をしたら、クレアチニンが6になっており、医師はそろそろ透析を覚悟したほうが良いということで、第二赤十字病院を紹介してもらいました。最初は、CAPDを行っていましたが、1年位したら大腸ガンが見つかり手術をしたため、CAPDができなくなり、血液透析に移行しました。そのとき、ガンの手術の為に、7週間の入院のせいで、体重が82kgから67kgになり、最初のドライウェイトが67kgでスタートしたので、透析時に毎回、足がツリ、とてもつらい血液透析でした。そこで、インターネットなどを使い、体験談、資料などを調べ上げ、独自で勉強をして、ドライウェイトをどうするのかを、医師と相談しながら、ドライウェイトを上げたりして、現在は落ち着いています。

私が言いたいのは、私のように他人に相談することをせず、何でも自分で解決するタイプの方は、どんどん納得していくので、あまりいい方向に行かず、いくところまでいってしまいます。

だから、何かあったら主治医の先生と相談したり、患者同士とコミュニケーションをとることも非常に大切だと思います。患者同士の雑談の中にも有益な情報もあるもんです。患者の皆さんとの和を大切にして、主治医の先生との密なコミュニケーションを大事にしたほうが良いと思います。

本日は、どうもありがとうございました。